

索道安全報告書 2018

野麦峠第1ペアリフト
野麦峠第5ペアリフト
野麦峠第7スカイライナーリフト
野麦峠第8高速ペアリフト

利用者の皆様へ

株式会社岳都リゾート開発（野麦峠スキー場、以下当社）の索道事業につきましては、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。

当社では安全の確保を第一に掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送における安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

基本方針と安全目標

基本方針

当社では安全基本方針を次のように掲げ、社長以下社員に周知徹底しております。

- ・一致団結して輸送の安全の確保に努める。
- ・輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行する。
- ・常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ・職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いに努める。
- ・事故、災害が発生した時は人命救助を最優先に行動し、速やかに安全で適切な処置を行う。
- ・情報は漏れの無いよう、迅速正確に伝える。
- ・常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組む。

安全目標

今年度、乗客における索道人身傷害事故はありませんでした。引き続き、目標達成に向けて取り組んでまいります。

- ・ヒューマンエラーによる人身傷害事故を発生させない。
- ・設備不具合による事故を未然に防ぐ。

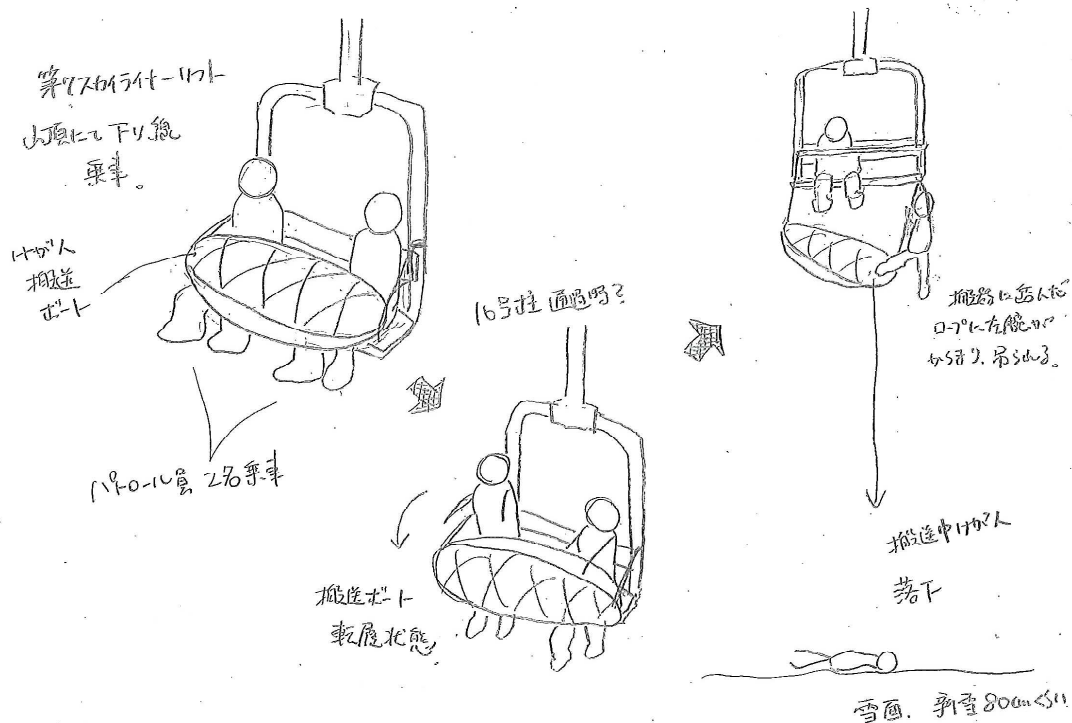
事故等の発生状況とその再発防止処置

・索道運転事故（索道人身事故）

索道人身傷害事故について、下記の通り報告いたします。

記

- 1、発生日時 平成29年12月31日（日） 10時50分頃
- 2、発生場所 野麦峠第7スカイライナーリフト 16号柱付近
- 3、事故種類 人身傷害 2名
- 4、原因 安全確認、安全確保が十分でなかった。
- 5、状況 上部グレンデにてボーダーのケガ人発生。負傷が足であったため、救助ボードにて第7スカイライナーリフト山頂まで搬送。パトロール員2名が両端を支えた状態でリフト下り線乗車。16号柱付近にて搬送ボードがバランスを崩し、転覆状態に。搬送中のケガ人がボードより抜け落ち、7メートルほど下の雪面まで落下。パトロール員1名が、ボードを固定していたロープに左腕を絡まれ宙づり状態に。無線連絡にてリフト停止。



- 6、対応 スキーセンターより圧雪車にてパトロール員2名現場到着。救急車要請。落下のケガ人意識ありの確認。宙づりパトロール員をポールにて救助。11時10分過ぎ、リフト運転再開。圧雪車にてスキーセンターパトロール室へケガ人を搬送。後、救急車にて松本市内病院に搬送。

7、診断	被害ボーダー	右胸部打撲 軽度肺挫傷 右寛骨臼骨折（全治6週間）
	パトロール	左手末梢神経障害（全治1週間）
8、対策	ケガ人搬送方法自体の見直し等、安全確保の徹底。	

以上

- ・災害（地震や暴風雨、豪雪など）
報告はありません。尚、雨天により営業運転見合わせ、並びに強風により一時運転を停止することがありました。
- ・インシデント（事故の兆候）
報告はありません。
- ・行政指導
報告はありません。

輸送の安全確保のための取り組み

人材教育

- ・輸送の安全確保のため、各研修会に参加するとともに、従業員の打ち合わせ会議にて安全教育を実施しました。

緊急時対応訓練

- ・パトロール員（有資格者）による救急救命講習を実施しました。
- ・営業開始前及び中途採用者に対しては新人教育として、救助訓練を実施しました。

安全のための投資と出資

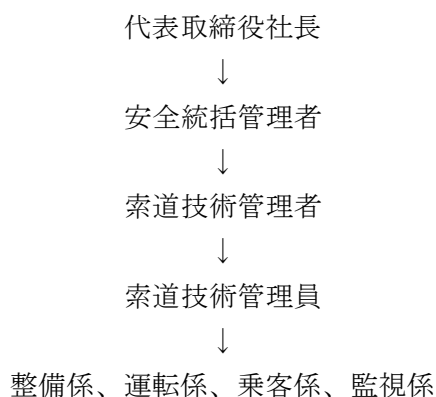
- ・安全の維持、向上のため、索道施設整備計画に基づき施設の整備を実施しております。

12ヶ月点検に基づく整備点検

野麦峠第1ペアリフト	直結制動機油圧ユニット更新
野麦峠第7スカイライナー	緊張油圧ユニットオーバーホール 原動緊張滑車更新
	山頂山麓押送伝達装置オーバーホール
野麦峠第8高速ペアリフト	線路金物更新（12～17号柱） 山頂駅舎補修、板金塗装

安全管理体制

代表取締役社長をトップとする安全管理組織を構築し、安全確保に取り組んでおります。



- ・ 代表取締役社長
輸送の安全の確保に関する最終的な責務を負う。
- ・ 安全統括管理者
索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。
- ・ 索道技術管理者
安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守の管理、その他技術上の事項に関する業務を統括する。
- ・ 索道技術管理員
索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

利用者の皆様との連携とお願い

より安全で信頼に足る索道業務を目指し、皆様から戴いたお声は真摯に受け止め、期待に応えられるよう努めてまいります。

リフト乗車時のお願い

- ・ 乗り方に慣れない、または不安のあるお客様は、係員に申し出て下さい。
- ・ リフトから飛び降りたり、故意にリフトを揺らさないで下さい。
- ・ 衣類、携帯品等がリフトに絡まないよう注意して下さい。
- ・ 空き缶等の物品をリフトから落とさないで下さい。
- ・ スキー、スノーボードの流れ止めをご確認下さい。
- ・ 乗車中の禁煙にご協力下さい。
- ・ 安全確保のため、乗り場では係員の指示に従って下さい。

ご意見、ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の取り組みへのご意見等、是非お聞かせ下さい。

〒390-1611

長野県松本市奈川1173-13

株式会社 岳都リゾート開発

野麦峠スキー場

Tel 0263-79-2246

Fax 0263-79-2200

URL <http://gakutoresort.jp>

E-mail info@gakutoresort.jp